

海外事業会社の活動



中国

Suntory (China) Holding Co., Ltd.
サントリー(中国)ホールディングス

貫流ボイラー導入で中国企業を先導

サントリー上海ビール工場では、2010年6月に天然ガスを燃料とする小型貫流ボイラーを12台導入しました。石炭ボイラーが主流の中国では先進的な事例です。蒸気負荷に応じて稼働台数を調整でき、稼働効率は大型石炭ボイラーのときの80%弱から、95%まで向上しました。また石炭の使用を中止することで、CO₂排出量を従来の約60%以上削減しています。



貫流ボイラー



ニュージーランド

Furcor Group
フルコアグループ

廃棄物削減とリサイクルを推進

フルコアグループのリサイクル率は過去3年で大幅に改善し、約90%を達成しています。また、ニュージーランドとオーストラリアのいくつかの業界団体に所属し、公共の場所やイベント会場でのリサイクル活動、包材設計の改良、容器リサイクルに関する地域を基盤とした研究開発への資金提供など、廃棄物排出量の削減とリサイクル率向上に向けた取り組みを推進しています。



廃棄物削減を意識して設計した包材



イギリス

Morrison Bowmore Distillers Ltd.
モリソンボウモア ディスティラーズ

蒸溜工程の廃熱を利用

モリソンボウモアの公共プールの温水は蒸溜工程の廃熱を利用しています。この廃熱はまた、緑麦芽を窯で乾燥させる際や、蒸溜釜の予熱、ピジターセンター内の暖房にも使われています。廃熱利用は、蒸溜所のみならずモリソンボウモア全体のCO₂排出量削減にも貢献しています。



廃熱を利用した温水プール



フランス

Château Lagrange S.A.S.
シャトー ラグランジュ

環境ラベル「TERRA VITIS(テラ・ヴィティス)」認証を取得

環境と人の健康を守りながら、生態学的に持続可能な手法で高品質のぶどうを生産していることが認められ、2005年に「TERRA VITIS(テラ・ヴィティス)」の認証を受けました。これは統合農業に関するラベルで、厳重な規制の遵守や年次監査が義務づけられ、シャトー ラグランジュを含む30のワイン生産者がこの環境活動に参加しています。



TERRA VITIS(テラ・ヴィティス)の認証



フランス

Louis Royer S.A.S.
ルイ ロワイエ

製造工程で水資源を有効活用

ブレンディングやびん詰め工程における用水を見直し、水使用量の削減および排水の水質管理に取り組んでいます。また、蒸溜工程で必要になる冷水も、環境保全と節電のため、蒸溜により発生した温水をいったん大きな貯水槽に貯蔵し、冷ましてから再利用しています。



蒸溜冷却水の貯水槽



シンガポール

Cerebos Pacific Ltd.
セレボス・パシフィック

環境に配慮した工場が完成

2010年、タイとマレーシアに、環境に配慮した新工場を開設しました。2つの工場では、太陽電池、省エネ型電球、自然採光、ボイラーやクーラーを管理する省エネユーティリティシステムと、生産ラインで使用した水を衛生システムに再利用するしくみなどを取り入れました。エネルギー効率が良いのも特徴となっています。



環境に配慮したタイの新工場